

Next Generation Cup 2025 in RYUOH

スポーツクライミング競技 リハーサル大会プログラム

令和7年 6月7日(土)・8日(日)
竜王町総合運動公園
スポーツクライミング特設会場

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



主催 公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会
竜王町、竜王町教育委員会

主管 滋賀県山岳連盟

後援 滋賀県、滋賀県教育委員会
公益財団法人滋賀県スポーツ協会
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会
竜王町スポーツ協会

目次

わた SHIGA 輝く 2025 国民スポーツ大会 リハーサル大会開催にあたり

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
会長 蛭田 伸一



ごあいさつ

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 会長 蛭田 伸一 01

歓迎の言葉

わた SHIGA 輝く 国スポ・障スポ 竜王町実行委員会 会長 西田 秀治 02

滋賀県知事 三日月 大造 03

滋賀県山岳連盟 会長 澤山 惠 04

役員名簿

(1) 大会役員 05

(2) 競技役員 06

(3) 競技補助員 07

(4) 競技会係員 08

(5) 競技会補助員／竜王町実行委員会事務局 09

実施要項

競技日程 12

種目別予選組合せ表（競技順） 14

参加選手一覧表 12

競技会場及び付帯施設 16

「わた SHIGA 輝く 2025 国民スポーツ大会 リハーサル大会 スポーツクライミング競技」が、ここ滋賀県竜王町にて開催されますことを、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会を代表して心よりお祝い申し上げます。

国民スポーツ大会のスポーツクライミング競技は、都道府県対抗の2人1組で争われ、合計成績で順位が決まるという、他の大会にはないユニークな形式が特徴です。どちらか1人だけが優れていても勝てず、2人の実力が揃ってこそ上位に食い込めるため、チームワークと総合力が問われます。

昨年女子ボルダリング競技では、2人の選手が相談しながら課題に挑み、制限時間ギリギリで同時に完登を果たした瞬間、館内は割れんばかりの大歓声に包まれました。こうしたドラマティックな場面こそが、スポーツクライミングの醍醐味といえるでしょう。

また、本競技の見どころの一つに、セッターと選手の“駆け引き”があります。出場選手の実力を踏まえ、トップ選手がギリギリで完登し、2番手の選手がそのやや下の成績になるように、セッターが緻密にルートを設定します。目の肥えた観客には、この絶妙な意図や駆け引きが読み取れ、競技の奥深さを感じられるはずです。しかし時に、誰もが登れると予想した選手が思わぬところで落下するなど、予測不能な展開があるのもクライミングの魅力です。

全国のクライミングウォールやジムを拠点に、地道に力をつけてきた選手の皆さんが、この舞台でその努力を存分に発揮されることを願っています。全国的に指導者の層も厚くなり、スポーツクライミングはますます進化を遂げています。

最後に、大会開催にご尽力いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げ、選手の健闘と、ご来場の皆さまの熱いご声援をお願い申し上げます。

歓迎のことば



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会会長
竜王町長 西田 秀治

よようこそ！竜王町へ。町民を代表し、心より皆様を歓迎申し上げます。

わが町は、近畿の穀倉地帯“湖東平野”の一角を占め、良質な鈴鹿山系の伏流水を水源に沃野に恵まれ、古くから食味豊かな近江米の産地として名を馳せると共に、神戸牛、松阪牛と並び称される「近江牛」発祥の地でもあります。また近年、南部に広がる丘陵地では果樹栽培も盛んで、都会からの多くの観光客で賑わいをみせています。

この度、わたSHIGA輝く国スポスポーツクラミング競技リハーサル大会「Next Generation Cup 2025 in Ryuoh」の当町開催に際しては、次代を期待される選手・監督、役員の皆様を始め全国から多くの方々の参加を得ましたことを大変嬉しく思っております。

当町では、本年のリハ大会、そして、国スポ本大会の開催を契機に、老若男女、多くの皆様にこの競技を体験し親しんで頂けるようにと、会場の竜王町総合運動公園内にボルダリング施設を整備しました。竣工以来、町民はもとより滋賀県内外から多くの方々に“来て、見て、触れて、体験する。”ことで楽しんで頂いております。そして、冒頭に触れましたように当町の自然やその恵みと併せて、「生の竜王町」を満喫して頂いてもおります。

さて、いよいよ第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」まで、残り僅かとなりました。ご存じのように、本町では正式競技としてスポーツクラミング競技を開催します。秋の本番に向け、各競技種目の成功とお越しいただく皆様にとって「素晴らしい交流が生まれ、記憶に残る大会」となるように、また、私達も心を込めた“おもてなし”でお迎えし、多くの皆様へ本町の魅力をしっかりと発信できる大会となるように、鋭意準備を進めているところです。

こうした中でのリハ大会の開催は、重要かつ大変意義深いものであり、機運醸成や今後のスポーツ振興に大きく寄与するものだと思います。

大会当日には、選手の皆様が強靱な体力や鍛え抜かれた精神力を以って日頃の練習の成果を存分に発揮され、溢れんばかりの躍動感で観衆を魅了する素晴らしいパフォーマンスを披露される姿を思うと、今から胸の高まりを抑えきれません。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力とご協力を頂きました関係の皆様へ深く敬意を表しお礼申し上げますと共に、リハ大会の成功と選手の皆様のご活躍とご健闘を祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



滋賀県知事
三日月 大造

Next Generation Cup 2025 in Ryuoh が、「わたSHIGA輝く国スポ」スポーツクラミング競技のリハーサル大会として盛大に開催されますことをご喜び申し上げます。

選手・役員の皆様をはじめ、全国各地から本大会にご参加いただきました方々を心から歓迎いたします。

さて、いよいよ今秋、本県において「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」を開催いたします。『湖国の感動 未来へつなぐ』をスローガンに掲げ、大会に関わる全ての人々が主役として光り輝き、夢や感動を共有し、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会になるよう、県民・行政・競技団体等が一丸となって準備を進めております。

全国から選手、観客の皆様をお迎えするにあたり、安全かつ円滑な大会運営ができるよう万全を期すとともに、大会における環境配慮の実践や共生社会の実現に向けた取組、さらには、滋賀の食や文化を楽しんでいただける心のこもったおもてなしを充実させ、滋賀ならではのみんなが輝く大会を目指してまいりたいと考えております。

選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。また、この機会に、是非、琵琶湖を取り巻く豊かな滋賀の自然や、数々の歴史の舞台となった城や神社仏閣、湖魚を使った滋賀ならではの伝統的な食文化、独創的な障害者文化芸術等々、豊富な文化資源に触れ、本県での滞在を楽しんでいただくとともに、再び来県いただくことを心からお待ちしております。

結びに、開催にご尽力いただきました関係者の方々に深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功ならびに選手の皆様方のご健闘をお祈りいたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

滋賀県山岳連盟
会長 澤山 恵

選手・監督の皆様、わた SHIGA 輝く国スポーツクライミング競技リハーサル大会、題して「Next Generation Cup 2025 in Ryuoh」にご参加くださり、誠にありがとうございます。参加いただく選手・監督の皆様はもとより、県内外の役員の方々、ようこそドラゴンハットにお越しくださいました。心より歓迎申し上げます。

皆様、今回の会場を目にして、驚かれたのではないのでしょうか。リード、ボルダーともに一つの大きなドーム内で行われることとなったのです。これは、ひとえに開催地元竜王町の並々ならぬ熱意と努力で、ドーム内での競技開催となったものです。競技を主管する連盟としても、感謝申し上げます。

さて、今年のリハーサル大会は「Next Generation Cup 2025 in Ryuoh」と銘打って開催されます。本来、国民スポーツ大会スポーツクライミングの少年男女はご承知の通り中3からの出場となります。一方町のジムを覗いてみますと、近年のスポーツクライミング人気の高まりとともに、小学生の活躍も目立ちます。次世代の活躍の場を設け、選手の育成や層の拡大とともに、広くスポーツクライミングの魅力を知ってもらいたい、そんな願いが込められています。皆様の中から、将来世界に羽ばたく選手が出てくるかもしれませんね。リハーサル大会は、役員の本番に向けた手順の確認や、施設の設置具合の調整など、本大会そのものを意識した側面が大きいです。今回はリハーサル大会の内容を高く掲げ、選手の皆様が活躍できる場を提供したいと考えております。天候に左右されないドーム内での競技を思いっきり楽しんでください。

主催の竜王町は 1955 年（昭和 30 年）4 月発足、今年で 70 周年を迎えられます。一方主管団体である滋賀県山岳連盟は 1954 年（昭和 29 年）3 月に発足しております。当連盟はこれまで周年事業を「満年齢」と同じように数えて実施しており、2025 年今年に 70 周年記念事業を予定しておりました。国民スポーツ大会を主管するという大事業のため、周年事業そのものは次年度に延期しますが、ともに 70 年という節目に、大きな事業を開催するということに、何やら因縁めいたものを感じます。ともに手を携え、選手の皆様が思い存分持てる力を発揮いただけるよう、運営に邁進してまいります。

最後になりますが、今大会の開催にあたり、ご指導を賜りました公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会をはじめ、滋賀県並びに滋賀県スポーツ協会の皆様に感謝申し上げます。何より竜王町実行委員会の担当の方々の国スポの成功に向けた熱い思いがいっぱい詰まった大会であります。

選手の皆様、持てる力を存分に発揮し、将来に向けて大いに羽ばたいてください。このリハーサル大会が成功裏に終わり、本大会の成功につながりますよう、滋賀県山岳連盟の会長として心よりご祈念申し上げます。

1. 役員名簿

(順不同・敬称略)
令和5年4月28日現在

(1) 大会役員

大会名誉会長	西田 秀治			
大会会長	蛭田 伸一			
大会副会長	古賀 英年 杼木 栄司	吉田 春彦	澤山 恵	勝見 孝一
顧問	石井 昭彦 齊藤 喜代志 糸川 章 廣川 健太郎 杉田 浩康 木ノ内 高嘉 湯浅 誠二 山口 進 山田 雅昭 峯本 典寛 古川 好幸 川添 秀男	服部 一雄 大滝 潤二 吉田 直人 水島 彰治 中西 紀夫 伊藤 智彦 小畑 和人 小坂 秀己 古林 喜明 刈谷 範光 西本 安幸 細川 浩	吉田 春彦 平子 吉政 加藤 富之 小宮 山稔 新耕 一 加藤 正一 古賀 英年 松本 実男 木村 康夫 寺崎 良人 原 勇次 小西 久次	山田 定道 西内 博雄 目次 俊雄 稲田 春男 山本 利幸 小木 曾昭文 藤本 直民 石原 敬士 原 秀樹 宮原 敏明 新原 祐治 甲津 和寿
参与	藤永 誠志 谷 康夫 小西 精 田畑 太郎 小林 靖英 三宅 政仁 橘 せつ子 森島 芳男 櫻井 絵里子	中村 匡希 岡崎 吉隆 若井 富嗣 青地 靖人 久保 雅則 若井 政彦 澤田 満夫 山田 義明	片岡 大幹 西村 善正 雨森 寿伸 大橋 春生 金子 裕子 磯部 俊男 川部 由紀子	北川 勝士 奥田 浩士 大野 稔司 若井 幸子 山添 千鶴子 鎌田 勝治 内山 英作 中島 薫
大会委員長	町田 幸男			
大会副委員長	原 勇人	片岡 幸一		
大会委員	赤尾 浩一 安井 博志 島田 邦昭 西谷 善子 前田 善彦	栗田 季慎子 小高 令子 杉本 怜弥 野村 善朗 樋口 義朗	濱田 豪拓 小田 部之 中島 隆之 畑 中 涉	望月 啓治 佐藤 建羅 中橋 沙羅 平田 伸也

(2) 競技役員

(順不同・敬称略)

競技会会長	蛭田伸一				
競技会副会長	町田幸男	澤山恵			
競技委員長	原勇人				
競技副委員長	土屋正昭	片岡幸一			
中央総務委員	山本和幸	岩本郁夫	赤松久宇		
県内総務委員	藤堂保	雲義明	中西光昭		
審判長	羽鎌田直人				
副審判長	長谷川千秋	野村康寿			
<リード種目>					
L主任審判員	尾形保充	畑中涉			
L審判員	平田典久 田中孝明 濱田健介	山本大策 大川慎哉	高間一 河野智也	林佳弘 河竹康之	
Lチーフルートセッター	濱田健介				
Lルートセッター	笠原大輔 佐原晴人 小林広幸 下総彰仁 島津雅一 中山ななみ	三宅栄臣	尾崎浩昭	徳永潤一	
チーフビレイヤー					
ビレイヤー	佐原晴人 小林広幸 下総彰仁 島津雅一 中山ななみ	松尾洋巳 脇田一輝 荻堂友美 中山しおり	井上忠史 三上大智 奥井健吾	寺本燦 小林裕明 中西努	
<ボルダリング種目>					
B主任審判員	山崎剛	彌田桂			
B審判員	戸田大輔 奥崎明美 平松幸祐 徳永一也	河野陽子 谷崎夕子	高橋伸次郎 長尾忍	片山健太 田井中夏美	
Bチーフルートセッター					
Bルートセッター	徳永一也	原賢伸	惣田祐四郎		
<総務部>					
総務部長	藤永誠志				
総務副部長	岡田慎也	北村邦子			
総務経理	杉島美代子	川村まり	森岡雄三		
記録報道	森田光治	安原知香			
総合案内	雲義明	木内義忠	松下征文	竹村喜一郎	
L選手受付	西澤昭彦 坂口裕子	増田信治	山下弓乃	山本洋子	
B選手受付	本郷嘉行 内藤友香 中西光昭 藤堂保 畦崎光	山本佑紀 池田明美 皇甫史英 野村勝彦 西谷明	本郷礼子	引山公史	
表彰式典					
通信連絡員					
補助員引率			酒井英人 中嶋啓介		

<競技部>

競技部長	杉山将崇				
L競技副部長	中川千佳子				
B競技副部長	平藤駿介	荒木敏	大塚文雄	中村修三	
Lアイソレーション	松岡滋彦 齋藤富司 松原篤志				
L監視誘導		吉田拓哉	奥田伸悟		
Lコールゾーン		植田武士	小林里嘉	宮崎豊	
L公式記録		北中英伸	小西義幸	藤田貴大	
L計測タイマー		土野隆志	西恭平	大森なつみ	山本信夫
L計測観客タイマー		柿本秋男	宇野尚美		
L成績入力集計		岡田磨	中島宣明		
L県名掲示		深谷直基	笠谷竜太	澤本伊吹	
L荷物運搬		坂本健太郎			
L救護医師・看護師		笹川重雄	久木實		
Bアイソレーション		小本浩孝	矢野宏		
		藤原尚人	菅俊介	北相模勉	石田富美子
		今井康太郎			
B監視誘導		小南一彦	濱田康寛	津村絵里子	
Bコールゾーン		堀江善裕	土井文雄	須藤邦裕	雪本幾子
B公式記録		山本晃司	宮林祥子		
B計測タイマー		臼井莊嗣	岩崎明憲		
B成績入力集計		北村仁司	河村みどり	北村紘大	
B県名掲示		鈴木弘市			
B荷物運搬		猪飼均	西澤隆	真名子栄一	
B救護医師・看護師		田中いつみ	山中由季乃		

<輸送宿泊部>

輸送宿泊部長	城尾与志明	中村大輔	小田舞幸
輸送・宿泊副部長	今井康太郎	富迫郁代	水頭代志美
		愛甲志保	銚之原弥生

(3) 競技補助員

(順不同・敬称略)

草津高等学校

膳所高等学校

守山中・高等学校

八幡高等学校

東大津高等学校

(4) 競技会係員

(順不同・敬称略)

総務部長	関 司 明 徳	川 嶋 正 明		
総務班長	奥 敏 和			
総合案内係長	和 田 智 明			
総合案内係員	犬 井 妙 子	西 田 茉 歩	尾 中 隆 彦	
広報記録係長	岩 田 宏 之	寺 田 篤 史	中 野 ゆ かり	
広報記録係員	澤 慎 吾			
輸送交通・消防警備班長	富 田 尚 弘			
駐車場係長	中 西 政 也			
駐車場係員	中 江 俊 和	西 田 尚 記	木 瀬 翔 太	知 禿 雅 晴
	佐々木嘉志	越 智 裕 彰	竹 内 傳	甲 津 祐 貴
	河原田和輝	中 村 竜 晟	森 野 耀 平	山 添 治
	田 村 翔 太			
消防警備係長	白 川 賢 治			
消防警備係員	山 田 浩 揮	木ノ下慶太郎		
医事衛生・宿泊班長	野 村 博 嗣			
医療救護係長	小 林 あ ゆ み			
医療救護係員	鍋 谷 玲 奈	徳 田 尚 也	村 田 奈 美	中 村 友 美
衛生係長	白 井 由 美 子			
衛生係員	平 井 由 花	村 田 皓 美	本 間 龍 輝	小 島 宏 司
	川 内 弥 生	阿 波 谷 駿 太		
弁当係長	小 森 久 美 子			
弁当係員	玉 谷 恵 梨 香	奥 翔 哉	浅 野 裕 二	亀 井 一 樹
おもてなし班長	西 村 忠 晃			
おもてなし係長	中 原 江 理			
おもてなし係員	谷 村 龍 之 介	平 優 香 里	圖 司 圭 秀	野 田 孝
	井 村 奈 緒 美	杉 本 隼		
競技会場部長	森 徳 男	寺 嶋 要		
会場総務班長	沖 宏 賢			
会場総務係長	織 田 政 則			
会場総務係員	山 本 千 佐 代	竹 山 壽	林 修 平	西 中 大 和
	関 司 一 磨			
競技式典班長	山 中 博 嗣			
競技会場係長	小 磯 真 由 美			
競技会場係員	後 藤 麻 理 奈	谷 口 瑛 介	村 地 信 彦	美 濃 汐 里
式典表彰係長	寺 本 育 美			
式典表彰係員	松 村 吉 高	佐 藤 孝 祐	徳 田 剛 士	
記録速報係長	福 地 祐 子			
記録速報係員	奥 智 子	大 継 拓 未	久 徳 咲 奈	
(公財)竜王町地域振興事業団	前 田 吉 弘	吉 田 光 宏	松 村 誠 一	生 田 健 太 郎
	西 村 尚 美	田 中 智 也	福 田 霧 虎	林 樹
	三 和 正 典	伊 地 智 真 澄		

(5) 競技会補助員

(順不同・敬称略)

総合案内係	横 井 千 恵	工 藤 妙 子	津 田 裕 美	宮 本 紀 子
	横 井 中 子			
競技会場係	岩 井 成 美	森 嶋 治 喜		
休憩所係	井 野 美 雪	村 上 攝 子	山 本 温 子	辻 充 子
	畑 中 芳 枝	西 村 文 子	多 川 千 代 子	越 智 明 子
	甲 津 美 紀 子			
弁当係	楠 神 一 美	吉 田 ま り 子	古 株 加 奈 子	森 嶋 順 代
	市 田 陽 子			
衛生係	久 保 達 也	磯 部 美 穂	市 岡 一	大 池 和 成
	村 地 義 博	鎌 原 義 和	赤 佐 和 枝	和 田 三 枝 子
	松 瀬 徳 之 助	鳥 本 與 志 博	尾 川 源 太 郎	中 島 忠 司
	越 智 輝 明			
競技運営係	田 村 恵 理	久 家 昌 代	吉 田 菊 香	村 上 保 之
	馬 場 政 信			
スポーツ推進委員	豊 富 智 津 子	片 岡 英 一	森 義 則	澤 田 真 由 美
	犬 井 幸 代	江 口 克 幸	廣 瀬 清 次	井 口 恵 嗣
	澤 井 佐 知 子	小 野 ゆ り 絵		

竜王町実行委員会事務局

事務局長	森 岡 道 友			
事務局次長	山 中 知 樹			
事務局員	高 橋 毅	小 林 拓 矢	西 村 恭 一	奥 村 峻 明

わたSHIGA輝く国スポスポーツクライミング競技リハーサル大会

Next Generation Cup 2025 in Ryuoh

1 実施要項

- 1 主催 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会、竜王町、竜王町教育委員会
- 2 主管 滋賀県山岳連盟
- 3 後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、公益財団法人滋賀県スポーツ協会、
(予定) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会、竜王町スポーツ協会
- 4 期日 2025年6月7日(土)～6月8日(日)
- 5 会場 竜王町総合運動公園 スポーツクライミング特設会場(ドラゴンハット内)
- 6 競技種別 (2025年度小学6年生～中学2年生) 男子・女子
- 7 競技種目 ボルダー・リード
- 8 出場資格

種別	出場資格
男子の部 女子の部	(1) (公社)日本山岳・スポーツクライミング協会(以下、JMCSAという)に登録(A登録/B登録)している者。 (2) 2013年4月2日～2015年4月1日に誕生した者。(小学6年～中学2年) (3) 2名+監督で1チームとする。 (4) 男女別で行う。 ※監督は成年であれば、その他の条件は問わない。 ※なるべく同じ都道府県の選手でチームを組むこと。

- 9 参加定員
(1) 種別ごとの参加定員は下表のとおりとする。

種別	定員	試合方式
男子の部	30チーム	ボルダー 予選(オンサイト) 決勝(オンサイト)
女子の部	30チーム	リード 予選(フラッシュ) 決勝(オンサイト)

- (2) 申し込みは先着順(「10 申込み」に案内する申込フォームへの入力完了順)に出場を認める。
- (3) 決勝進出は各8チームとするが、各種別の出場人数、競技日程調整等により、その配分は別途定める。
- 10 申込み 下記のURLから申込期間内に代表者が申し込むこと。
 申込期間：2025年4月1日(土)9時より4月20日(日)17時まで
 URL：<https://forms.gle/KuQjHQiMxPhRKZLo9>
 ※申込みにはJMCSAの選手登録番号等が必要となるため、登録を完了しておくこと。

- 11 参加料 (1) 1チームにつき18,000円とする。
(1) 参加料は、4月30日(水)までに指定口座に入金すること。
【重要】指定口座は申込締切後に別途公表する。



- 12 表彰 (1) 各種別の種目ごとの1位から3位のチームを表彰する。
(1) 男子及び女子総合成績の1位から3位のチームを表彰する。

- 13 日程 6月7日(土) 選手受付
予選(ボルダー種目・リード種目)
6月8日(日) 決勝(ボルダー種目・リード種目)
表彰式

- 14 宿泊・送迎 宿泊・送迎ともに各自手配とする。

- 15 注意事項 (1) 本大会出場選手の大会期間中の肖像権に関わる一切の権利は、大会主催者の管理下にあるものとする。
(2) 入金完了後の参加料はいかなる場合にも返金されない。
(3) 本大会は競技中の事故に関して主催者側で応急処置は行うが、その後の責任は一切負わない。
(4) 競技用ユニフォームは、2名の選手が同じ服装であること。
(5) 弁当の斡旋は行わないので、昼食等は各自で用意すること。

- 16 連絡先 【競技に関する問合せ】
滋賀県山岳連盟事務局
scshiga2025@gmail.com
【申込・会場に関する問合せ】
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会事務局
〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地
TEL：0748-58-3711 FAX：0748-58-2655
メールアドレス ryuoh.kokusupo@town.ryuoh.shiga.jp

※問合せは、原則としてメールで行うこと。また、件名を「スポーツクライミング競技リハーサル大会問合せ：〇〇〇〇の件について」とすること。

ホームページURL

https://www.town.ryuoh.shiga.jp/2025kokusupo_shosupo/top/top.html



競技日程

日程 種別	第1日目		
	男子	女子	備考
7:00			
7:10			
7:20			
7:30			
7:40			
7:50			
8:00			
8:10			
8:20			
8:30			
8:40			
8:50			
9:00	ホルダー	リード	
9:10	アイソオープン	受付 8:30 ~ 9:30	
9:20	9:00 ~ 10:00	ウォームアップ	
9:30	アイソクローズ	90分	
9:40			
9:50	オブザベーション		
10:00	コールゾーンへ		
10:10	(15分)		
10:20			
10:30	ホルダー	リード	
10:40	予選	予選	
10:50		1人2本	
11:00	5.25分×10	5分×30	
11:10	+ 10.5分	150分	
11:20	= 63分		
11:30			
11:40			
11:50			
12:00			
12:10			
12:20			
12:30			
12:40			
12:50			
13:00			
13:10			
13:20			
13:30			
13:40			
13:50			
14:00	リード	ホルダー	
14:10	受付 13:40 ~ 14:40	アイソオープン	女子ホルダー
14:20	ウォームアップ	14:00 ~ 15:00	ルートセット
14:30	90分	アイソクローズ	
14:40			
14:50		オブザベーション	
15:00		コールゾーンへ	
15:10		(15分前)	
15:20	リード		
15:30	予選		
15:40	1人2本		
15:50			
16:00	5分×20	ホルダー	
16:10	100分	予選	
16:20			
16:30		5.25分×15	
16:40		+ 10.5分	
16:50		= 89.25分	
17:00			
17:10			
17:20			
17:30			
17:40			
17:50			
18:00			
18:10			
18:20			
18:30			
18:40			
18:50			
19:00			
19:10			

第2日目			日程 種別
男子	女子	備考	
			7:00
リード	リード		7:10
アイソオープン	アイソオープン		7:20
7:00 ~ 8:00	7:00 ~ 8:00		7:30
アイソクローズ	アイソクローズ		7:40
			7:50
			8:00
オブザベーション	オブザベーション		8:10
コールゾーンへ	コールゾーンへ		8:20
(15分前)	(15分前)		8:30
			8:40
			8:50
リード	リード		9:00
決勝	決勝		9:10
8チーム	8チーム		9:20
60分	60分		9:30
			9:40
			9:50
リード			10:00
種目別表彰			10:10
			10:20
	リード		10:30
	種目別表彰		10:40
			10:50
			11:00
			11:10
ホルダー			11:20
アイソオープン			11:30
11:00 ~ 12:00			11:40
アイソクローズ			11:50
			12:00
オブザベーション			12:10
コールゾーンへ			12:20
(15分前)			12:30
			12:40
ホルダー			12:50
決勝			13:00
8チーム	ホルダー		13:10
60分	アイソオープン		13:20
	12:30 ~ 13:30		13:30
	アイソクローズ		13:40
			13:50
	オブザベーション		14:00
	コールゾーンへ	女子ホルダー	14:10
	(15分前)	ルートセット	14:20
ホルダー			14:30
種目別表彰			14:40
			14:50
			15:00
	ホルダー		15:10
	決勝		15:20
	8チーム		15:30
	60分		15:40
			15:50
			16:00
			16:10
	ホルダー		16:20
	種目別表彰		16:30
			16:40
			16:50
			17:00
			17:10
			17:20
			17:30
			17:40
			17:50
			18:00
			18:10
			18:20
			18:30
			18:40
			18:50
			19:00
			19:10

種目別予選組合せ表（競技順）

予選の競技順は、JMSCA が定める「スポーツクライミング競技規則」第 125 条に基づき決定しています。

※各チームの枝番号 1 の選手が、先に A ルートを登り、枝番号 2 の選手が先に B ルートを登る。

※ B ルートを先に登る選手のチーム競技順は、A ルートを先に登る選手のチーム競技順を参加チーム数の 1/2（小数点以下切り捨て）のところで前半、後半を入れ替えたものとする。

※ A ルートを先に登った選手はその後、B ルートを A ルートと同じ競技順で登り、B ルートを先に登った選手はその後 A ルートを B ルートと同じ競技順で登る。

【男子の部】

ボルダー		リード					
予選競技順		予選 A ルート競技順		予選 B ルート競技順			
1	join Forces	1	Team AICHI	M01-1	1	チームモンキー	M06-2
2	ホセ・メンドーサ	2	サクラサク	M07-1	2	SHIMANE	M02-2
3	TK climb LINK ~東西の絆~	3	桃太郎 climbers	M03-1	3	join Forces	M05-2
4	チームモンキー	4	ホセ・メンドーサ	M04-1	4	チーバ君	M10-2
5	はやいち	5	TK climb LINK ~東西の絆~	M08-1	5	はやいち	M09-2
6	チーバ君	6	チームモンキー	M06-1	6	Team AICHI	M01-2
7	SHIMANE	7	SHIMANE	M02-1	7	サクラサク	M07-2
8	桃太郎 climbers	8	join Forces	M05-1	8	桃太郎 climbers	M03-2
9	Team AICHI	9	チーバ君	M10-1	9	ホセ・メンドーサ	M04-2
10	サクラサク	10	はやいち	M09-1	10	TK climb LINK ~東西の絆~	M08-2
		11 5 20	予選 B ルートの 競技順 1 ~ 10 の選手		11 5 20	予選 A ルートの 競技順 1 ~ 10 の選手	

【女子の部】

ボルダー		リード					
予選競技順		予選 A ルート競技順		予選 B ルート競技順			
1	仲良しの輪	1	いちなな	W04-1	1	teaWabo	W03-2
2	teaWabo	2	いなばや	W08-1	2	山手	W09-2
3	チームあいち	3	アームストロングオズマ	W06-1	3	チームあいち	W01-2
4	アームストロングオズマ	4	チーバちゃん	W12-1	4	仲良しの輪	W14-2
5	いなばや	5	京都きつず女子 11 期生	W10-1	5	チーム AICHI	W02-2
6	COCONUT	6	Team neco.	W11-1	6	COCONUT	W15-2
7	いちなな	7	なんば	W05-1	7	ハルサク	W07-2
8	チーム AICHI	8	KCSK	W13-1	8	いちなな	W04-2
9	ハルサク	9	teaWabo	W03-1	9	いなばや	W08-2
10	山手	10	山手	W09-1	10	アームストロングオズマ	W06-2
11	KCSK	11	チームあいち	W01-1	11	チーバちゃん	W12-2
12	neco.	12	仲良しの輪	W14-1	12	京都きつず女子 11 期生	W10-2
13	京都きつず女子 11 期生	13	チーム AICHI	W02-1	13	neco.	W11-2
14	なんば	14	COCONUT	W15-1	14	なんば	W05-2
15	チーバちゃん	15	ハルサク	W07-1	15	KCSK	W13-2
		16 5 30	予選 B ルートの 競技順 1 ~ 15 の選手		16 5 30	予選 A ルートの 競技順 1 ~ 15 の選手	

参加選手一覧表

【男子の部】

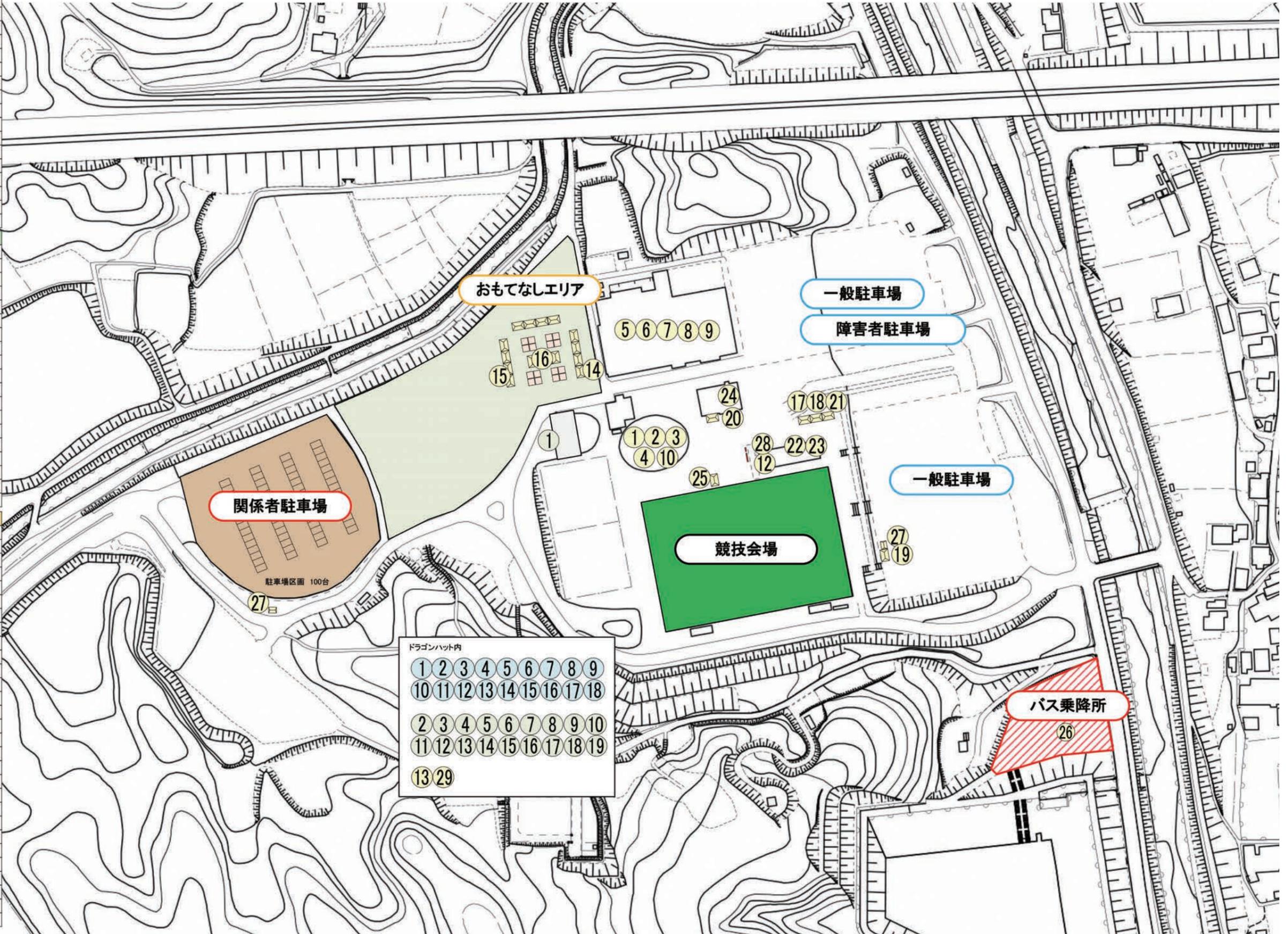
都道府県名	チーム名	氏 名
愛知	Team AICHI	1 河村 瑠希 2 青山 信太郎
島根	SHIMANE	1 三島 陸斗 2 重田 栄路
岡山	桃太郎 climbers	1 江見 昇真 2 田中 昂
愛媛	ホセ・メンドーサ	1 木野本 恵輔 2 山内 絢斗
茨城 群馬	join Forces	1 額賀 悠斗 2 宮川 湊
鳥取	チームモンキー	1 河岡 進 2 尾坂 飛和
宮城	サクラサク	1 早瀬 桜太 2 矢部 咲太郎
埼玉 山口	TK climb LINK ~東西の絆~	1 橋爪 健太 2 上田 大志
愛知	はやいち	1 井澤 新一 2 大上 颯斗
千葉	チーバ君	1 安楽 晴希 2 森川 柊

【女子の部】

都道府県名	チーム名	氏 名
愛知	チームあいち	1 田中 陽葵 2 堀井 紗和
愛知	チーム AICHI	1 長谷 美咲 2 柴田 楓
和歌山	teaWabo	1 野上 華愛 2 神前 心咲
大阪 / 三重	いちなな	1 海野 奈花 2 濱松 いちか
大阪	なんば	1 今大路 果絵 2 家戸 董
愛媛	アームストロング オズマ	1 藤原 羽華 2 久米 春衣
埼玉	はるさく	1 長島 永和 2 小川 さくら
静岡	いなばや	1 酒井 汐梨 2 時田 遙
兵庫	山手	1 長谷川 怜那 2 溝渕 帆禾
京都	京都きつず女子 11 期生	1 山中 麗生沙 2 茂木 さき
三重	neco.	1 服部 寧々 2 南川 亜子
千葉	チーバちゃん	1 小林 律香 2 松本 波南
京都	KCSK	1 山代 咲楽 2 渡瀬 心麦
大阪 / 奈良	仲良しの輪	1 元江 美乃 2 濱田 和奏
滋賀	COCONUT	1 奥村 心優 2 合谷 心菜

競技会場及び付帯施設

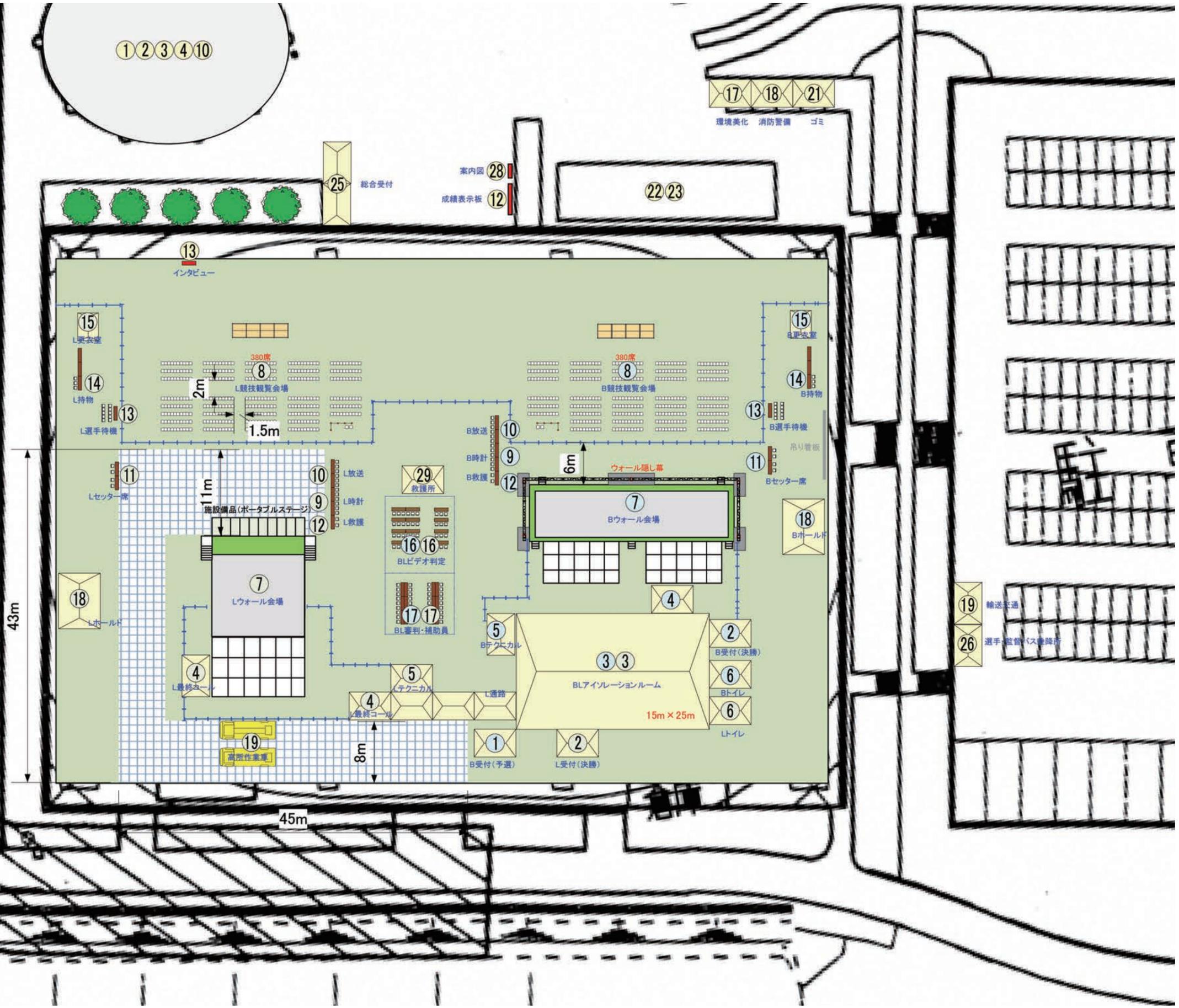
NO	施設名称
1	B 受付 (予選)
2	B 受付 (決勝)
3	B アイソレーションルーム
4	B 最終コールゾーン
5	B テクニカルインシデント待機室
6	B 仮設トイレ (選手・監督用)
7	B ウォール会場
8	B 競技観覧会場
9	B 時計席
10	B 放送席
11	B セッター席
12	B 救護所
13	B 競技終了選手待機所
14	B 持込禁止物返却所
15	B 更衣室 (競技終了後)
16	B ビデオ判定室
17	B 審判員・競技補助員控所
18	B ホールド保管所
19	高所作業車待機所
20	実施本部
21	競技本部
22	記録集計室
23	来賓・大会役員控所
24	プレスワーキングルーム
25	報道員控所
26	競技会係員控所
27	競技補助員控所
28	競技役員・視察員控所
29	医師待機所
30	種目別表彰式会場
31	スケジュールボード
32	売店
33	おもてなし・ドリンクコーナー
34	一般休憩所
35	環境美化係控所
36	消防・警備本部
37	輸送・交通本部
38	弁当引換所
39	ゴミ集積所
40	一般用トイレ
41	多目的トイレ
42	ベビーケアルーム
43	総合案内所
44	競技補助員バス乗降所
45	駐車場係員控所
46	会場案内図
47	救護所



NO	施設名称
1	B受付(予選)
2	B受付(決勝)
3	Bアイソレーションルーム
4	B最終コールゾーン
5	Bテクニカルインシデント待機室
6	B仮設トイレ(選手・監督用)
7	Bウォール会場
8	B競技観覧会場
9	B時計席
10	B放送席
11	Bセッター席
12	B救護所
13	B競技終了選手待機所
14	B持込禁止物返却所
15	B更衣室(競技終了後)
16	Bビデオ判定室
17	B審判員・競技補助員控所
18	Bホールド保管所

NO	施設名称
1	L受付(予選)
2	L受付(決勝)
3	Lアイソレーションルーム
4	L最終コールゾーン
5	Lテクニカルインシデント
6	L仮設トイレ(選手・監督用)
7	Lウォール会場
8	L競技観覧会場
9	L時計席
10	L放送席
11	Lセッター席
12	L救護所
13	L競技終了選手待機所
14	L持込禁止物返却所
15	L更衣室(競技終了後)
16	Lビデオ判定室
17	L審判員・競技補助員控所
18	Lホールド保管所
19	高所作業車待機所

NO	施設名称
1	実施本部
2	競技本部
3	記録集計室
4	来賓・大会役員控所
5	プレスワーキングルーム
6	報道員控所
7	競技会係員控所
8	競技補助員控所
9	競技役員・視察員控所
10	医師待機所
11	
12	スケジュールボード
13	インタビューコーナー
14	売店
15	おもてなし・ドリンクコーナー
16	一般休憩所
17	環境美化係控所
18	消防・警備本部
19	輸送・交通本部
20	弁当引換所
21	ゴミ集積所
22	一般用トイレ
23	多目的トイレ
24	ベビーケアルーム
25	総合案内所
26	競技補助員バス乗降所
27	駐車場係員控所
28	会場案内図
29	救護所





Next Generation Cup2025 in RYUOH

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
リハーサル大会

発行：令和7年6月

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会

お問い合わせ窓口

競技に関すること

滋賀県山岳連盟事務局

✉ scshiga2025@gmail.com

会場地に関すること

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会

☎ 0748-58-0111

🌐 ryuoh.kokusupo@town.ryuoh.shiga.jp

竜王町国スポ特設サイト

